

A&F・Aviation に産業革新機構が資本参加

日本初の本格的 LCC 航空会社である A&F・Aviation 株式会社（以下 A&F・Aviation、社長：井上慎一、住所：東京都港区東新橋）に、本日、株式会社産業革新機構（以下 INCJ、社長：能見公一、住所：東京都千代田区丸の内）が資本参加いたしました。

INCJ は A&F・Aviation の株式を 33.3%（1000 万円）取得したことを皮切りに、社外取締役を派遣するなど戦略策定にも参画していきます。A&F・Aviation は 2011 年度中の就航前までに最大で約 150 億円の増資を予定しており、INCJ は必要な範囲で追加的に資金提供を検討して参ります。

（3月31日時点の出資比率 全日本空輸 33.4% ファーストイースト 33.3% 産業革新機構 33.3%）

A&F・Aviation は、INCJ からの資金及び経営面でのサポートにより、就航に向けた準備を一層本格化し、日本及びアジアでの文化、経済の活性化に貢献して参ります。

A&F・Aviation 株式会社について

A&F・Aviation は、日本で初めての本格的 LCC 航空会社として、2011 年 2 月に発足。関西国際空港を拠点として、2011 年度下期の就航開始を計画しています。

A&F・Aviation は、日本を含む東アジア域内に新たな航空ネットワークを創造します。具体的には、安全を大前提として、これまでの航空とは異なる仕組みを通じて安定的な低コスト体制を実現、常識を覆す圧倒的な低運賃を提供、航空における新たな価値・選択肢を生み出し、成長著しいアジア市場の需要を開拓することで、アジアと日本の新たな架け橋を目指します。

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額 8000 億円超の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。INCJ では、これまでに合計 12 件・総額約 520 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス・原子力発電等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。